

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2023 年 12 月 22 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 165-0034

所在地 東京都中野区大和町1-62-6

評価機関名 一般社団法人 特養ホームマネジメント研究所

認証評価機関番号

機構 15 - 231

電話番号 03-5929-9807

代表者氏名 石田 誠



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	下田 桂子	経営	H1001034
	②	基 加津美	福祉	H1901020
	③	石田 誠	福祉	H1501055
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	愛隣保育園			
事業所連絡先	〒	110-0003		
	所在地	東京都台東区根岸5丁目15号3番		
	Tel	03-3872-4547		
事業所代表者氏名	菅原 智子			
契約日	2023 年 5 月 2 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 7 月 24 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 8 月 31 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 7 月 10 日			
自己評価結果報告日	2023 年 8 月 31 日			
訪問調査日	2023 年 9 月 13 日			
評価合議日	2023 年 9 月 13 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・利用者調査においては、保護者を対象としてアンケート調査を実施しました。 ・職員自己評価等は、職員階層別に集計し、カテゴリ毎に数値結果を取りまとめました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- ☒ 機構が定める部分を公表することに同意します。
- ☐ 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- ☐ 別添の理由書により、公表には同意しません。

2023 年 12 月 20 日

事業者代表者氏名

菅原 智子



No.	特に良いと思う点
1	タイトル 保育を实践するプロフェッショナルとしての心構えを身につけ、保護者、子どもと信頼関係を築き、愛隣保育園の良さを伝えています
	内容 園が求める職員の姿には大変な仕事も笑顔を決やさず実践し、子どもの前では喜怒哀楽を表現する事があっても職員自らの感情はコントロールして笑顔で業務をする事がプロである事を心掛けています。また、子どもの命を預かる重大な業務に携わっている事も認識を深めています。保護者から信頼を得る為に、例えば、子ども1人ひとりの成長を良く把握し、どの職員に聞いても同じ回答ができるような丁寧な対応に努めています。愛隣保育園の保育内容の良さ、質を大切に、卒園する際にはこの園があつてよかったと思えるように努めています。
2	タイトル 自由とルールを守る事を踏まえながら、子どもを1番に考えた活動が展開できるような工夫と関わりを大切にしています
	内容 子どもが自由に遊ぶ為にはルールがあり、そのルールを守ろうとする仲間がいてこそ自由があるといった姿勢で保育者は子どもに関わっています。例えば、収穫した野菜を使ったみそ汁作りは、5歳児が切ったり、ちぎったりして、いつも以上に食が進む活動になっています。また、子どもが遊びたい玩具、粘土等はエリアに分かれて机の上に広げ、時間を区切らず遊びが継続できるようにしています。子ども同士のトラブルから次への学びもあり、仲良く、折り合いをつけながら楽しく遊ぶ為の方法や、解決に向けた話し合いをしています。
3	タイトル 大きな園庭を有効活用した活動や、自然木を利用した園舎や家具等による落ち着いた雰囲気があり、子どもの笑顔と会話が溢れています
	内容 固定遊具、プール、築山、砂場等、子ども達が自由に外遊びができる環境があり、園庭を有効活用する事で子どもの運動機能の向上にも役立っています。また、自然木を利用した園舎となっており、園内には木製の家具等が配置され、落ち着いた雰囲気があります。各保育室は、設置基準以上のスペースが確保され、外気を感じられる開放的な空間となっています。階段のコーナーには、学童保育室の小学生が作成した季節の果物等の制作物があり、紙で制作したお花等も飾られています。大人の声が聞こえない「子どもの笑顔と会話」がある保育環境です。
No.	さらなる改善が望まれる点
1	タイトル ITC化に伴いシステムの導入をしていますが、再度見直しと検討をしています
	内容 保育園の現場は、子ども達を預かる、保育するだけではなく、事務作業も多いものです。保育計画、保育日誌や連絡帳、お便り、行事の準備等、業務も多岐にわたります。保護者からは、連絡帳や献立表等のアプリの導入を求める声もあり、温かみを感じられる手書きの文章、おたよりの作成等の良さは残しつつ、デジタル化による業務の効率化の導入をしました。現在は、改めて、情報伝達・共有の仕組みの再構築に向けて見直しをしています。今壁新聞等の取り組みを踏まえ、例えば、日常の保育をさらに見える化する方法的検討等も期待します。
2	タイトル 愛隣団の保育を理解する職員の働きやすい環境と定着率を向上させる為の具体的な課題に対しての取り組みに期待します
	内容 保育士等の確保が課題になっています。「休みを取る事を遠慮している」、「安心して休暇が取れるようにしたい」、「公的な福利厚生制度を利用しているが職員へのメリットが少ない為、利用は少ない」、「有給休暇を遠慮なく取得できる環境整備」、「職員のキャリアが上がるにつれての子育てから介護へのシフトの支援」、「職員が子育てを機に辞めなくてよいようにする仕組み」等の具体的な内容、課題が抽出できています。今後の改善に向けた取り組みに期待します。
3	タイトル 児童福祉施設として地域の方に見守られています、近隣の高い建築物等も増え、子どもの羞恥心への配慮が必要なケースも見られます
	内容 100年以上の歴史ある園舎は地域の方に見守られ、太いパイプをもつ児童福祉施設として培われ、園庭で遊ぶ子どもの声に対しての地域からの意見はありません。どの保育室も開放的な窓があり、外の空気を感ずる事ができます。一部の窓からは、外部の様子を見る事ができますが、外部から園内を見る事もできるので遮光カーテン等を利用しています。現在、換気をする為、窓を開閉している場所での子どもの羞恥心への配慮が必要なケースも見受けられます。また、園内は開放的な雰囲気ではありますが、トイレの出入り口等についても同様の検討を期待します。